

# 1. 人 口

## C0101-1 人口総数・増加数

本町の人口は、平成12年国勢調査結果で5,961人であったが、令和2年国勢調査結果では4,353人(男2,140人、女2,213人)となり、率では27.0%減少している。

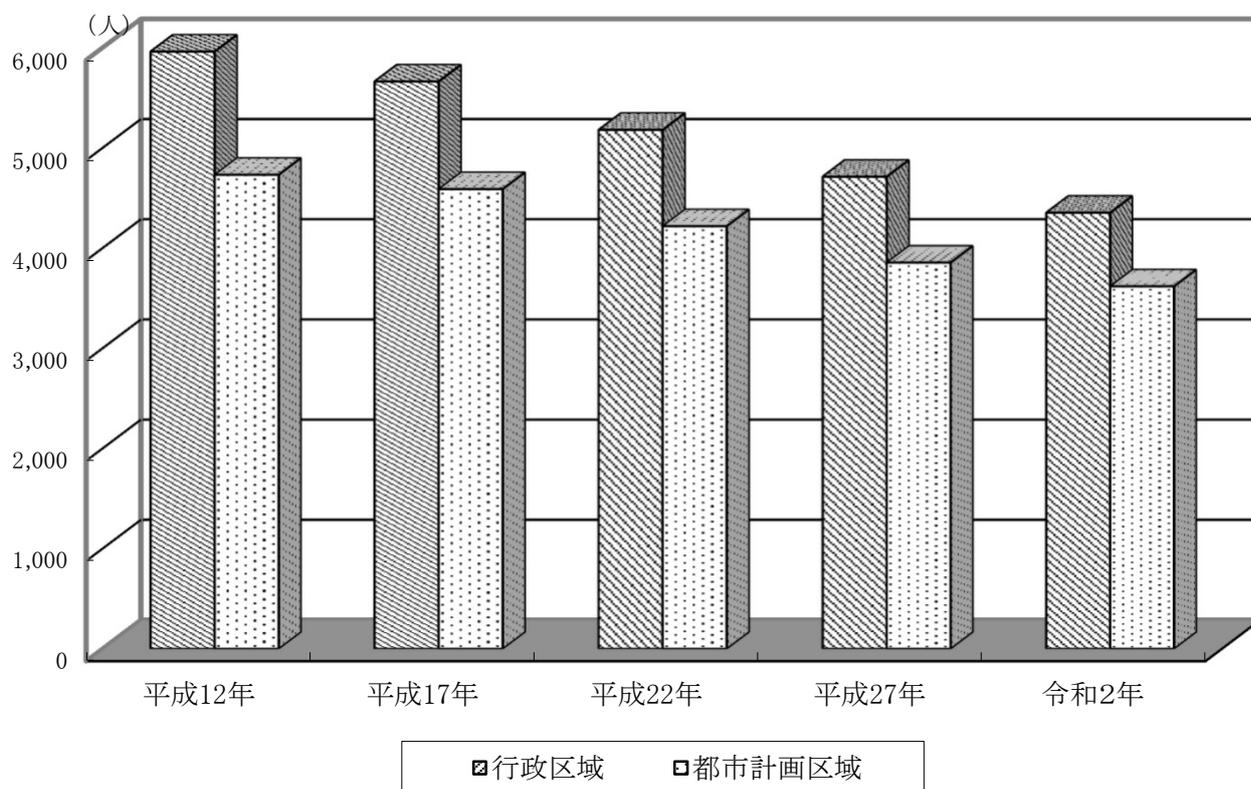
平成12年から5年毎の人口増減率の推移をみると、平成12年から平成17年で5.0%減、平成17年から平成22年で8.5%減、平成22年から平成27年で9.0%減、平成27年から令和2年で7.6%減といずれもマイナスである。

令和2年における都市計画区域内人口は3,618人で全人口の83.1%を占めている。平成12年から5年毎の人口増減率は、それぞれ3.0%減、8.1%減、8.6%減、6.1%減となっている。

表1-1 人口総数及び増加数 (平成12,17,22,27年、令和2年国勢調査 男女別人口及び世帯数-基本単位区をもとに作成)

区 域	平成12年 人 口	12年～17年 の 増 減		平成17年 人 口	17年～22年 の 増 減		平成22年 人 口	22年～27年 の 増 減		平成27年 人 口	27年～2年 の 増 減		令和2年 人 口
		人 口	率		人 口	率		人 口	率		人 口	率	
行 政 区 域	5,961	△ 298	△ 5.0	5,663	△ 483	△ 8.5	5,180	△ 467	△ 9.0	4,713	△ 360	△ 7.6	4,353
都市計画区域	4,732	△ 143	△ 3.0	4,589	△ 370	△ 8.1	4,219	△ 364	△ 8.6	3,855	△ 237	△ 6.1	3,618

図1-1 人口総数及び増加数



## C0101-2 年齢・性別人口

平成12年から令和2年にかけての年齢別人口の推移は、年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)が減少傾向であり、20年間で年少人口は460人(53.2%)、生産年齢人口は1,230人(37.0%)減少しているのに対し、老年人口は59人(3.3%)増加している。

令和2年の年齢別人口の構成比は、年少人口が9.3%、生産年齢人口が48.1%、老年人口が42.1%となっており、老年人口比は県平均(32.0%)や郡部平均(36.1%)と比べても高い割合となっている。

年齢構成指数では、平成12年から令和2年までの20年間で年少人口指数は6.7%の減少、老年人口指数は34.1%の増加となっている。老年化指数については平成12年の205.1%に対し、令和2年には248.1%増加の453.2%と高い値を示している。

表1-2 年齢・性別人口(行政区域)

(平成 12, 17, 22, 27 年、令和 2 年国勢調査 男女別・年齢階級(5歳階級)別人口をもとに作成)

階層	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総計	男	女												
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
0～4	218	105	113	181	110	71	142	73	69	118	58	60	139	88	51
5～9	306	140	166	227	117	110	183	108	75	141	71	70	125	61	64
10～14	340	180	160	317	144	173	228	119	109	184	106	78	140	69	71
年少人口	864	425	439	725	371	354	553	300	253	443	235	208	404	218	186
15～19	304	157	147	264	137	127	227	106	121	179	97	82	140	79	61
20～24	240	113	127	187	116	71	173	97	76	122	57	65	115	73	42
25～29	273	139	134	264	129	135	213	125	88	201	109	92	142	77	65
30～34	293	147	146	260	137	123	230	118	112	217	131	86	184	95	89
35～39	314	161	153	297	147	150	236	126	110	210	107	103	187	100	87
40～44	309	145	164	305	158	147	292	141	151	221	119	102	214	110	104
45～49	414	220	194	303	142	161	303	156	147	290	141	149	236	127	109
50～54	412	210	202	403	215	188	300	143	157	298	151	147	281	135	146
55～59	361	178	183	413	208	205	410	216	194	300	143	157	300	155	145
60～64	405	192	213	364	182	182	410	206	204	391	204	187	296	136	160
生産年齢人口	3,325	1,662	1,663	3,060	1,571	1,489	2,794	1,434	1,360	2,429	1,259	1,170	2,095	1,087	1,008
65～69	445	225	220	398	188	210	342	159	183	402	206	196	382	200	182
70～74	452	205	247	426	207	219	368	169	199	333	155	178	384	193	191
75～	875	319	556	1,054	395	659	1,123	425	698	1,106	421	685	1,065	428	637
75～79	376	156	220	425	185	240	383	178	205	339	150	189	309	142	167
80～84	262	91	171	317	121	196	359	142	217	322	141	181	298	127	171
85～90	160	47	113	194	53	141	235	73	162	251	87	164	228	92	136
90～	77	25	52	118	36	82	146	32	114	194	43	151	230	67	163
老年人口	1,772	749	1,023	1,878	790	1,088	1,833	753	1,080	1,841	782	1,059	1,831	821	1,010
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	14	9
総計	5,961	2,836	3,125	5,663	2,732	2,931	5,180	2,487	2,693	4,713	2,276	2,437	4,353	2,140	2,213

図1-2 年齢・性別人口  
(年齢)

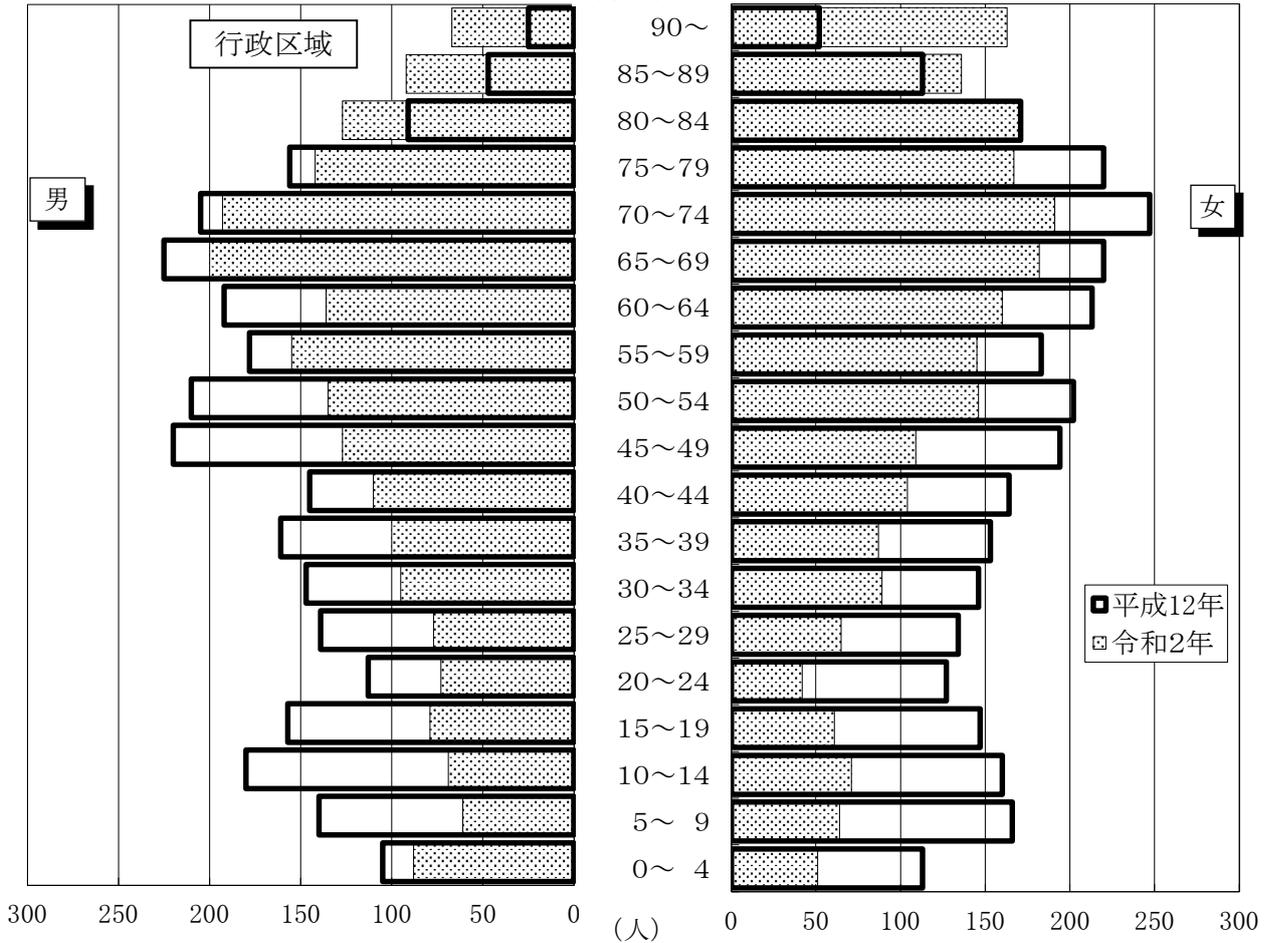


表1-3 年齢構成指数の推移 (単位:%)

	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
平成12年	26.0	53.3	79.3	205.1
平成17年	23.7	61.4	85.1	259.0
平成22年	19.8	65.6	85.4	331.5
平成27年	18.2	75.8	94.0	415.6
令和2年	19.3	87.4	106.7	453.2

年少人口指数=年少人口/生産年齢人口×100  
 老年人口指数=老年人口/生産年齢人口×100  
 従属人口指数=(年少人口+老年人口)/生産年齢人口×100  
 老年化指数=老年人口/年少人口×100

図1-3 年齢構成指数の推移 (%)

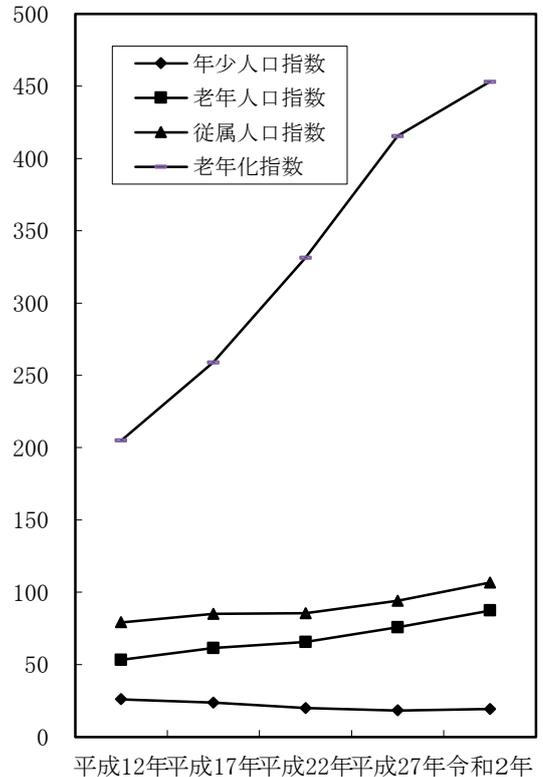


表1-4 他市町村における年齢別人口構成比(令和2年)

(単位:%)

市町村名	構 成 比 (注1)			指 数 (注2)			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	老年人口	従属人口	老年化
長野県	12.0	56.1	32.0	21.4	57.0	78.4	266.9
市部計	12.1	56.9	30.9	21.3	54.4	75.6	255.4
郡部計	11.4	52.5	36.1	21.7	68.7	90.4	316.3
小諸市	11.5	54.7	33.8	21.1	61.8	83.0	292.9
佐久市	12.7	56.3	30.9	22.6	54.9	77.5	243.3
南佐久郡	10.3	53.5	36.3	19.2	67.9	87.0	354.0
<b>小海町</b>	<b>9.3</b>	<b>48.4</b>	<b>42.2</b>	<b>19.3</b>	<b>87.2</b>	<b>106.5</b>	<b>453.0</b>
川上村	10.3	62.1	27.5	16.6	44.3	60.9	266.4
南牧村	10.4	58.8	30.8	17.7	52.4	70.2	295.6
南相木村	9.9	49.3	40.9	20.0	82.9	103.0	413.7
北相木村	13.8	50.3	35.9	27.5	71.4	98.9	259.6
佐久穂町	10.3	50.9	38.8	20.3	76.3	96.6	375.8
北佐久郡	11.4	56.6	32.0	20.2	56.4	76.6	279.8
軽井沢町	11.4	55.3	33.3	20.6	60.3	80.8	292.9
御代田町	12.3	59.5	28.1	20.7	47.2	67.9	228.2
立科町	9.4	53.6	37.0	17.6	69.1	86.7	392.1

(注)割合は、分母から不詳を除いて算出している。

資料:国勢調査(各年10月1日)

(注1)年少人口=0~14歳 生産年齢人口=15~64歳 老年人口=65歳以上

(注2)年少人口指数=年少人口/生産年齢人口×100

老年人口指数=老年人口/生産年齢人口×100

従属人口指数=(年少人口+老年人口)/生産年齢人口×100

老年化指数=老年人口/年少人口×100

C0103 将来人口(年齢階級別(5歳)、性別)

平成27年と令和2年の5歳階級別年齢人口を基に行った、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)による10年後、20年後の推計結果は、令和12年3,642人、令和22年で2,984人と推計され、各年とも人口が減少する結果となった。

令和2年から令和22年までの増減率は、令和12年で-16.3%(711人減少)、令和22年で-31.4%(1,369人減少)である。

図1-4 年齢別人口の将来推計

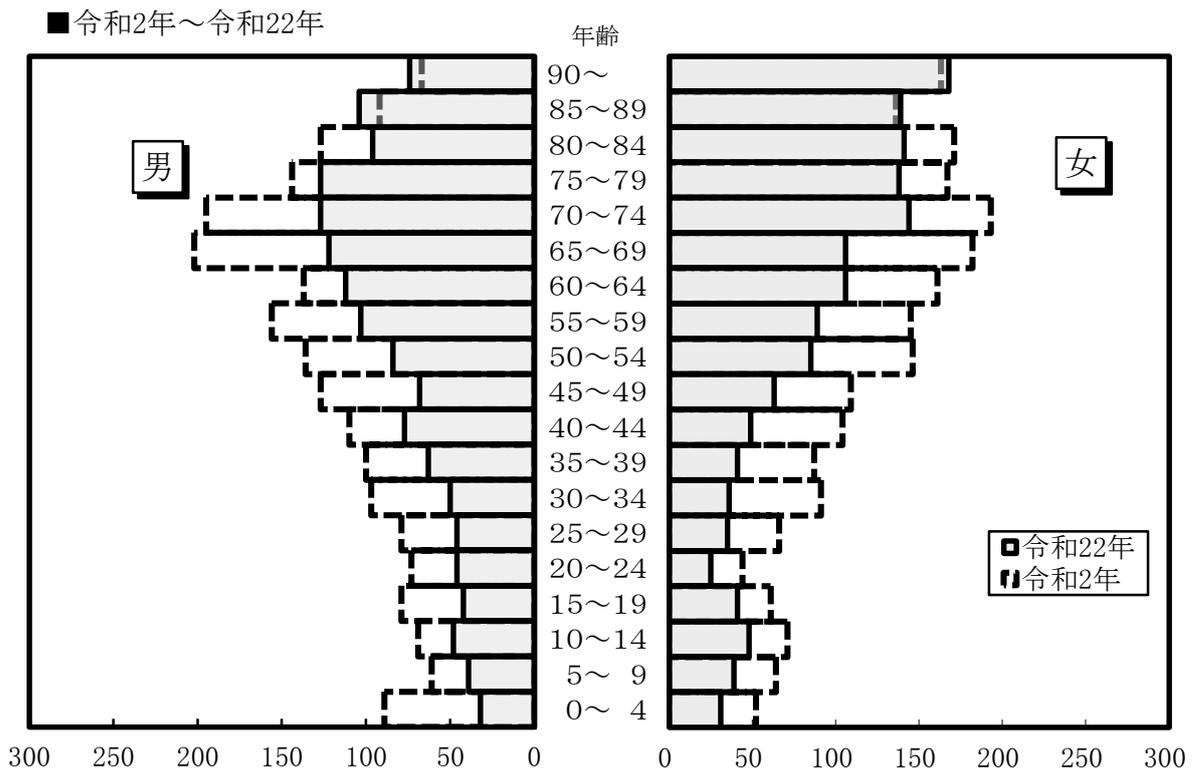
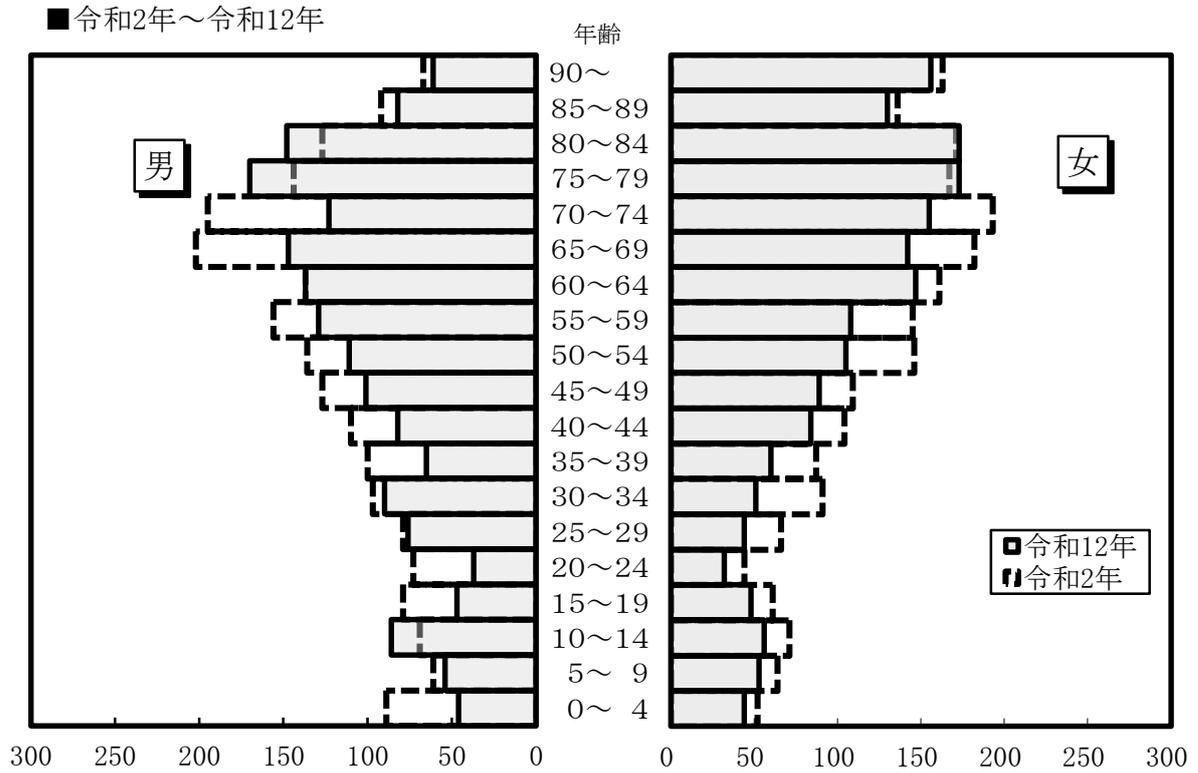


表1-5 将来人口(年齢階級別(5歳)、性別)

(日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)(国立社会保障・人口問題研究所))

年 階層	実績(基準年)		推 計 値																		
	令和2年(2020年)		令和7年(2025年)		令和12年(2030年)		令和17年(2035年)		令和22年(2040年)		令和27年(2045年)		令和32年(2050年)								
	総 数	人	男 人	女 人	男 人	女 人	男 人	女 人	男 人	女 人	男 人	女 人	男 人	女 人							
0～4	141	89	52	104	53	51	90	46	44	74	38	36	63	32	31	56	29	27	50	26	24
5～9	125	61	64	142	87	55	107	54	53	94	47	47	78	39	39	66	33	33	59	30	29
10～14	140	69	71	127	62	65	142	86	56	110	55	55	96	48	48	80	40	40	68	34	34
15～19	140	79	61	105	53	52	95	47	48	108	66	42	83	42	41	73	37	36	61	31	30
20～24	117	73	44	93	56	37	69	37	32	62	33	29	71	46	25	55	30	25	48	26	22
25～29	145	79	66	147	93	54	120	76	44	89	51	38	81	46	35	96	65	31	74	43	31
30～34	188	97	91	138	76	62	141	90	51	116	74	42	86	50	36	79	45	34	94	64	30
35～39	187	100	87	168	83	85	125	65	60	126	77	49	104	63	41	78	43	35	72	39	33
40～44	214	110	104	184	98	86	166	82	84	125	65	60	126	77	49	104	63	41	77	42	35
45～49	236	127	109	220	113	107	190	101	89	171	85	86	131	68	63	132	80	52	109	66	43
50～54	282	136	146	232	125	107	216	111	105	188	100	88	169	84	85	129	67	62	130	79	51
55～59	301	156	145	288	141	147	237	129	108	221	115	106	192	103	89	173	87	86	133	70	63
60～64	298	137	161	296	151	145	284	137	147	233	125	108	218	112	106	190	101	89	171	85	86
65～69	384	202	182	288	131	157	289	147	142	279	134	145	228	122	106	214	109	105	187	99	88
70～74	388	195	193	368	189	179	278	123	155	280	139	141	271	127	144	222	116	106	209	104	105
75～79	311	144	167	364	176	188	343	170	173	264	113	151	265	127	138	258	117	141	211	107	104
80～84	298	127	171	271	117	154	321	148	173	305	144	161	237	96	141	239	110	129	235	102	133
85～89	228	92	136	231	87	144	212	82	130	255	106	149	243	104	139	194	71	123	197	82	115
90～	230	67	163	214	63	151	217	61	156	211	59	152	242	74	168	250	79	171	223	62	161
不詳																					
総計	4,353	2,140	2,213	3,980	1,954	2,026	3,642	1,792	1,850	3,311	1,626	1,685	2,984	1,460	1,524	2,688	1,322	1,366	2,408	1,191	1,217

注：令和2年の数値は、年齢不詳をあん分によって補完した「不詳補完値」

## C0104 人口増減

人口増減の推移を見ると、自然増減は死亡者数が出生数を上回っているため減少している。出生数は平成22年以降20人台でおおむね横ばいで推移している。社会増減は転出者数が転入者数を上回り減少傾向にある。

表1-6 人口増減

(小海町調査(基準日:令和6年3月31日現在))

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
	人	人	人	人	人
自然増減	△ 13	△ 50	△ 63	△ 58	△ 49
出生数	51	36	20	24	28
死亡者数	64	86	83	82	77
社会増減			△ 24	△ 36	△ 31
転入者数	207	145	143	108	114
転出者数			169	148	145
(その他増減)		8	2	4	-
人口増減計			△ 87	△ 94	△ 80

資料:人口動態調査(出生数、死亡者数)、住民基本台帳人口移動報告(転入者数、転出者数)

### C0105 通勤・通学移動(就業者)

令和2年の就業者の流出・流入別人口についてみると、流出就業者数は834人、率で36.4%、流入就業者数は875人、率で37.3%であり、ほぼ同率となっている。

令和2年の流出先をみると、流出率の第1位は佐久市で16.5%(377人)、第2位は南牧村で6.9%(157人)である。流入先についても流入率の第1位は佐久市で17.3%(406人)、第2位は佐久穂町で10.1%(237人)である。

表1-7 流出・流入別人口の推移(就業者)

(平成12,17,22,27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成)

年	常住地による就業者数	流 出		従業地による就業者数	流 入		従/常 就業者比
		就 業 者 数	流出率		就 業 者 数	流入率	
	人	人	%	人	人	%	%
平成12年	3,194	837	26.2	3,334	977	29.3	104.4
平成17年	2,924	905	31.0	2,896	877	30.3	99.0
平成22年	2,590	890	34.4	2,591	869	33.5	100.0
平成27年	2,512	876	34.9	2,504	866	34.6	99.7
令和2年	2,291	834	36.4	2,346	875	37.3	102.4

表1-8 流出先・流入先別人口の推移(就業者)

流 出 先															
年	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
平成12年	佐久市	257	8.0	臼田町	130	4.1	南牧村	125	3.9	佐久町	78	2.4	八千穂村	73	2.3
平成17年	〃	407	13.9	南牧村	173	5.9	佐久穂町	131	4.5	川上村	52	1.8	小諸市	47	1.6
平成22年	〃	408	15.8	〃	150	5.8	〃	119	4.6	〃	46	1.8	〃	29	1.1
平成27年	〃	396	15.8	〃	163	6.5	〃	142	5.7	〃	42	1.7	〃	26	1.0
令和2年	〃	377	16.5	〃	157	6.9	〃	111	4.8	〃	42	1.8	〃	31	1.4
流 入 先															
年	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
平成12年	臼田町	194	5.8	佐久市	184	5.5	八千穂村	161	4.8	佐久町	130	3.9	北相木村	81	2.4
平成17年	佐久市	329	11.4	佐久穂町	290	10.0	北相木村	72	2.5	南相木村	64	2.2	南牧村	46	1.6
平成22年	〃	358	13.8	〃	276	10.7	南相木村	71	2.7	北相木村	50	1.9	〃	43	1.7
平成27年	〃	375	15.0	〃	249	9.9	〃	54	2.2	〃	51	2.0	〃	46	1.8
令和2年	〃	406	17.3	〃	237	10.1	〃	50	2.1	南牧村	44	1.9	北相木村	39	1.7

注1 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者をいう。

従業地による就業者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者をいう。

注2 流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100

流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100

注3 (従/常)就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100

※平成7.12年の市町村名は、合併以前の名称  
佐久市・臼田町・望月町・浅科村 → 佐久市  
佐久町・八千穂村 → 佐久穂町

### C0105 通勤・通学移動(通学者)

令和2年の通学者の流出・流入人口についてみると、流出通学者数は76人、率で58.0%、流入通学者数は182人、率で74.6%であり、流入者数が流出者数を106人上回っている。

令和2年の流出先をみると、流出率の第1位は佐久市で38.2%(50人)、第2位は小諸市で3.1%(4人)である。流入先については流入率の第1位は佐久穂町で23.8%(58人)、第2位は佐久市で21.7%(53人)である。

表1-9 流出・流入別人口の推移(通学者)

(平成12,17,22,27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成)

年	常住地による通学者数 人	流 出		通学地による通学者数 人	流 入		通/常 通学者比 %
		通 学 者 数 人	流出率 %		通 学 者 数 人	流入率 %	
平成12年	280	143	51.1	393	256	65.1	140.4
平成17年	241	131	54.4	357	247	69.2	148.1
平成22年	227	120	52.9	357	249	69.7	157.3
平成27年	173	90	52.0	332	249	75.0	191.9
令和2年	131	76	58.0	244	182	74.6	186.3

表1-10 流出先・流入先別人口の推移(通学者)

流 出 先															
年	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
平成12年	佐久市	101	36.1	臼田町	28	10.0	小諸市	3	1.1	長野市	1	0.4	-	-	-
平成17年	〃	97	40.2	小諸市	15	6.2	上田市	5	2.1	〃	5	2.1	-	-	-
平成22年	〃	82	36.1	〃	12	5.3	長野市	6	2.6	上田市	4	1.8	千曲市	1	0.4
													飯田市	1	0.4
平成27年	〃	66	38.2	〃	7	4.0	上田市	5	2.9	長野市	3	1.7	松本市	1	0.6
													軽井沢町	1	0.6
													上松町	1	0.6
令和2年	〃	50	38.2	〃	4	3.1	〃	3	2.3	長野市	1	0.8	-	-	-
										松本市	1	0.8	-	-	-
流 入 先															
年	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
平成12年	川上村	51	13.0	八千穂村	46	11.7	南牧村	43	10.9	臼田町	33	8.4	佐久町	27	6.9
平成17年	佐久穂町	80	22.4	佐久市	53	14.8	川上村	44	12.3	南牧村	29	8.1	北相木村	24	6.7
平成22年	〃	80	22.4	〃	66	18.5	南牧村	31	8.7	川上村	28	7.8	南相木村	24	6.7
平成27年	佐久市	90	27.1	佐久穂町	82	24.7	〃	27	8.1	〃	24	7.2	〃	15	4.5
令和2年	佐久穂町	58	23.8	佐久市	53	21.7	川上村	32	13.1	南相木村	17	7.0	南牧村	13	5.3

注1 常住地による通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)通学者をいう。

通学地による通学者数とは、当該都市に通学する(昼間人口ベース)通学者をいう。

注2 流出率=流出通学者数/常住地による通学者数×100

流入率=流入通学者数/通学地による通学者数×100

注3 (通/常)通学者比率=通学地による通学者数/常住地による通学者数×100

※平成7.12年の市町村名は、合併以前の名称  
佐久市・臼田町・望月町・浅科村 → 佐久市  
佐久町・八千穂村 → 佐久穂町

図1-5 平成12年流出・流入状況図(就業者)

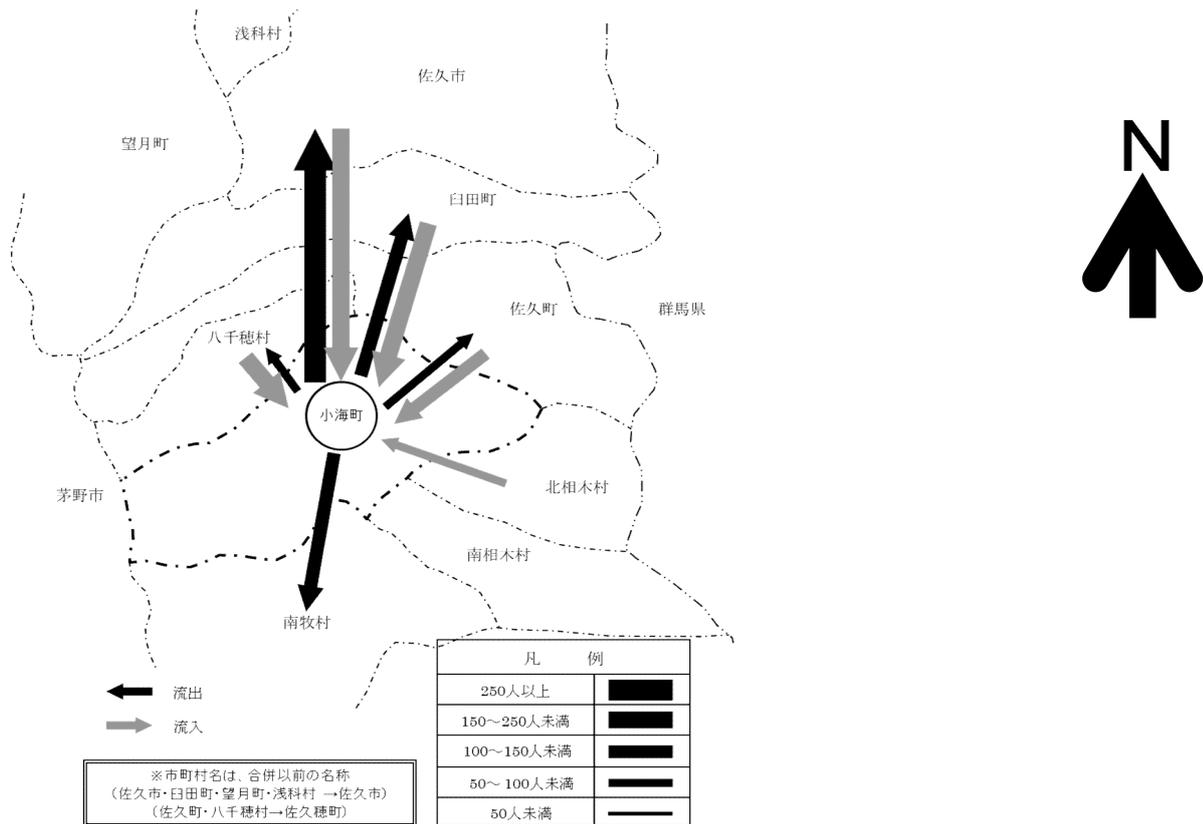


図1-6 令和2年流出・流入状況図(就業者)

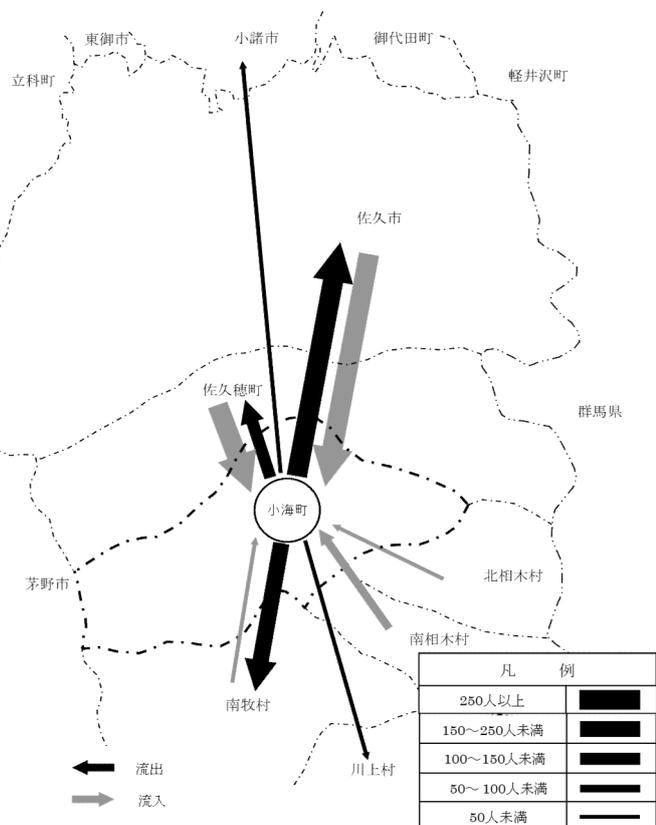


図1-7 平成12年流出・流入状況図(通学者)

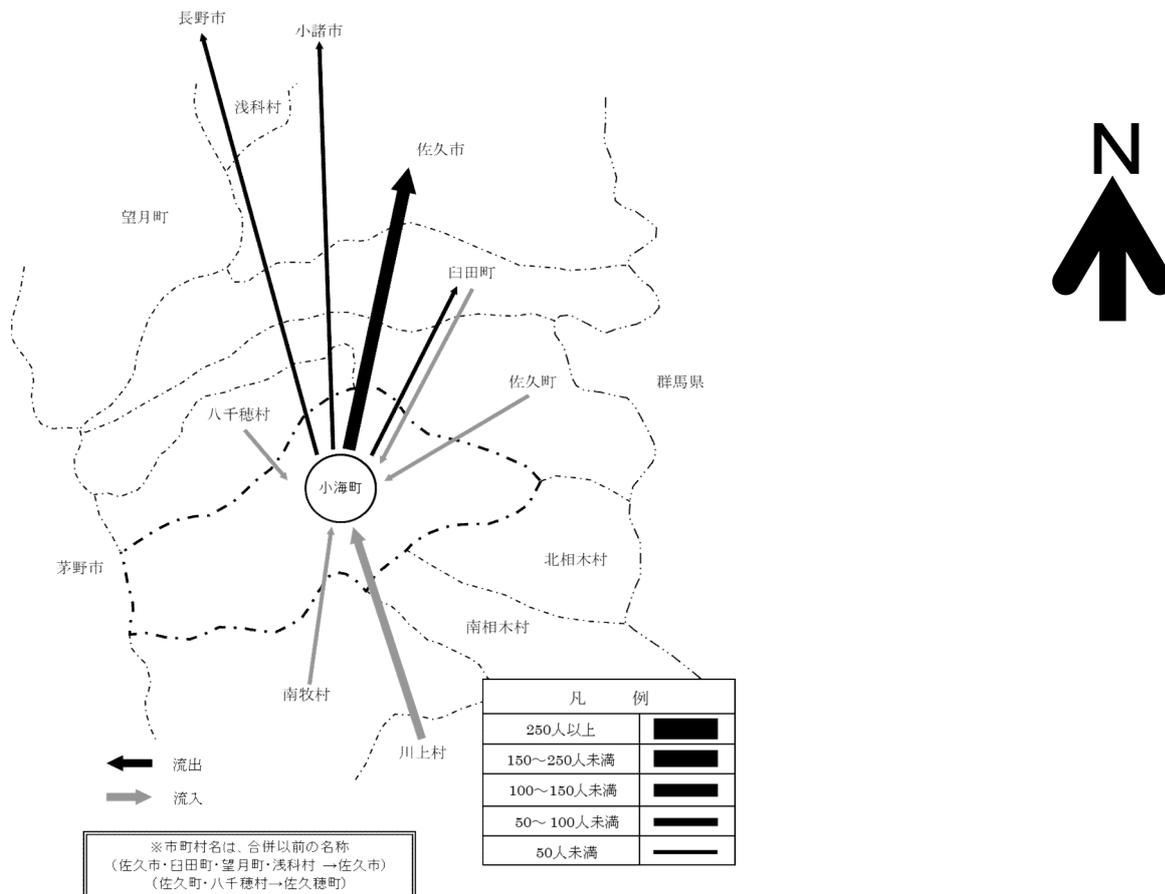


図1-8 令和2年流出・流入状況図(通学者)

